

環境省国際サンゴ礁研究・モニタリングセンターとは

活動紹介

2000年5月12日、サンゴ礁の保全や自然再生を進め
ていくため、国際的なサンゴ礁保全の枠組みである国際サン
ゴ礁イニシアティブ（ICRI）の取組みを推進する東アジア海
における地球規模サンゴ礁モニタリングネットワーク
（GCRMN）の拠点として、サンゴセンターが設置されました。

情報の収集や提供、研究

石垣島周辺や石西礁湖を中心
に、サンゴ礁のモニタリング調査
を実施しています。



オニヒトデの大発生など生態系
のバランスの変化、地球温暖化に
よる海水温の上昇や気候変動など
地球規模のできごとだけでなく、私たち人間の様々な活動の
影響を受けてサンゴ礁は絶えず変化しています。

サンゴ礁を保全するためには、サンゴが弱ったり、また回
復したりを繰り返すサンゴ礁の現状を継続して把握するこ
と、つまりモニタリング調査が不可欠です。モニタリング結
果は、今後の保全活動や調査に活用しています。得られた最
新の調査結果や自然再生に関する取組などはウェブサイトでも
発信しています。

国際機関との連携

2017年、ミクロネシア地域の拠点として設立されたパラ
オ国際サンゴ礁センターとサンゴ礁生態系保全に関する協力
覚書の署名が行われ、情報交換や交流を行うなど積極的に連
携を図っています。



（パラオ国際サンゴ礁センター）



（職員の交流）

普及啓発

サンゴ礁の保全は1人でも多くの方がサンゴ礁の重要
性を理解することから始まります。

私たちの生活に深く関わってくるサンゴ礁の重要性や保
全の必要性を、より深く理解してもらうため、パンフレッ
トやパネルを作成し展示を行うとともに、学校や地域の方
の協力を得て実施するサンゴ学習の支援や、西表石垣国立
公園をはじめとする各フィールドを利用した普及啓発活動
も行っています。

【子ども自然ふれあい事業】

小中学校に向け、出前授業や
総合的な学習の時間と連携した
体験学習などでサンゴの学習を
行っています。



【海の自然教室】

開所当初から毎年「海の自然
教室」と題したスノーケル観察
会を開催しています。



【その他・各種イベント】

その他、各種イベントの開催や、外部イベントでのパネ
ル展示、講演会なども行っています。



（沖縄気象台主催 お天気教室）



（国際サンゴ礁年 2018 やえやまサンゴカフェ）

サンゴセンター 20 年の歩み

サンゴセンターの歩みを語るうえで欠かせない重要なできごと
を年表にまとめました。

石西礁湖の自然再生をはじめとしたサンゴの保全活動は、地元
のみなさん、研究者や関係機関の方などの連携により少しずつ成
果がでてきました。一方で、まだまだ多くの課題があります。

サンゴセンターはこれからも自然再生の取組や情報発信に全力
を尽くします。



西暦・和暦	センター 年齢	サンゴセンターのできごと
2000年 平成12年	0歳	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター開所
2004年 平成16年	4歳	・有性生殖法によるサンゴ修復事業を開始
2006年 平成18年	6歳	・石西礁湖自然再生協議会設立
2007年 平成19年	7歳	・石垣島が国立公園に購入、「西表石垣国立公園」となる ・夏期海水温上昇によるサンゴの大規模白化 ・石西礁湖自然再生全体構想策定
2009年 平成21年	9歳	・石西礁湖自然再生行動指針【陸域対策】発表
2016年 平成28年	16歳	・環境省「サンゴ礁保全行動計画2016～2020」策定 ・夏期海水温上昇によるサンゴの大規模白化 ・サンゴ大規模白化緊急対策会議
2018年 平成30年	18歳	・国際サンゴ礁年2018 ・自然再生全体構想「短期目標」の評価 ・「自然再生全体構想2019～2023行動計画」策定
2020年 令和2年	20歳	・国際サンゴ礁研究・モニタリングセンター20周年 ・新たな修復事業の検討・実施